

# 議 事 録

## 1 日時

令和2年7月8日（水）

午後1時30分～午後6時00分

## 2 会場

和歌山市役所 11階 教育委員室

## 3 出席者

### 【教育長及び委員】

教育長 富松 淳  
委員 藤本 禎男  
委員 森崎 陽子  
委員 波床 昌則  
委員 打田 雅子

### 【事務局職員】

教育局長	津守 和宏	教育学習部長	坂下 雅朗
学校教育部長	東 康修	教育政策課長	天野 忠和
生涯学習課長	松下 行男	青少年課長	楠山 耕司
学校教育課長	古田 清和	教職員課長	竹内 伸之
教育研究所長	岡本 友尊	保健給食管理課長	福井 博之
子ども支援センター長	高木 康子	市立和歌山高等学校事務長	太田 克弘
教育政策課副課長	上中 英人	文化振興課長	洲寄 敬一郎
文化振興課振興班長	宮脇 進	文化振興課振興班事務主任	西出 俊之
教育研究所専門教育監補	北林 直樹	教育政策課総務政策班長	楠本 佳章
教育政策課事務副主査	若林 拓也		

### 【和歌山市立小学校、中学校及び義務教育学校教科用図書選定委員会】

選定委員長	寺川 剛央	選定委員	松田 晃
選定委員	横山 和哉	選定委員	伊澤 真佐子

### 【和歌山市立和歌山高等学校職員】

校長	梅野 作治	教諭（全日制）	大橋 誠
教諭（全日制）	得津 寿生	教諭（全日制）	木村 敏夫
教頭（定時制）	石井 文敏	教諭（定時制）	江川 宏
教諭（定時制）	山本 嘉成		

## 4 開会宣示

富松教育長が、開会を宣示。

## 5 議事録

6月定例会の議事録を承認。

## 6 署名委員指名

署名委員に藤本委員を指名。

## 7 報告及び議案

### 富松教育長

本日は、報告が2件、議案が8議案となっています。議案第17号から議案20号については、会議規則第5条第3号及び第6号に当たるもので、秘密会が適当だと思いますが、いかがでしょうか。

### 委員一同

異議なし。

### 富松教育長

異議なしと認め、議案第17号から議案第20号については、秘密会とします。

### 報告第7号 6月定例市議会について

#### 富松教育長

それでは、まず初めに、報告第7号「6月定例市議会について」説明をお願いします。

#### 坂下教育学習部長

それでは、報告第7号「6月定例市議会」について、概要を報告させていただきます。

市議会は、令和2年6月12日に開会し、7月1日に閉会しました。今回は、一般質問の期間が4日間あり、9人の議員が質問されましたが、そのうち3人の議員から、教育委員会に対し「新型コロナウイルスへの対策について 学校運営について」、「コロナ禍及びコロナ禍収束後の和歌山市の対応について」、「教育行政について」質問がありました。

一般質問の内容及び市長、教育長、教育局長の答弁については、前もって資料として送付させていただいておりますので、ここでの説明は省略させていただきます。

経済文教委員会につきましては、6月24日に開かれました。令和2年度和歌山市一般会計補正予算について、委託契約の締結についてご審議いただきました。

37ページから39ページをご覧ください。この補正予算の追加分については新型コロナウイルス感染症対策として急遽6月議会への上程となったため、和歌山市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条（臨時代理）の「緊急やむを得ない理由」により教育長の臨時代理とさせていただきますので、今回、報告させていただきます。

第9款教育費の総額は、補正前の額105億978万9千円から、6,315万9千円増額し、105億7,294万8千円とするものです。

続きまして、追加の補正予算の内容について説明します。

(1) 特別支援教育支援員派遣事業、952万9千円の増額は、夏休みを短縮することによる、発達障害等がある児童・生徒に支援・介助を行う支援員・支援補助員の派遣に係るものです。

(2) 生徒指導補助員配置事業、236万1千円の増額は、夏休みを短縮したことによる、各学校現場をサポートするために必要な生徒指導補助員の派遣に係るものです。

(3) 小学校維持管理事業（消耗品費）、709万3千円の増額は、家庭での学びを補完するため、家庭学習用プリントの配布に係るコピー用紙等の消耗品費です。38ページをお願いします。同様に中学校は、(6)で292万1千円の増額、高等学校は(9)で33万4千円の増額となっており、家庭の学びを補完する費用としております。

37ページにお戻りください。(4) 小学校維持管理事業（光熱水費）、1,878万9千円の増額は、小学校臨時休業に伴う学習不足に対応するため、夏休みを短縮することによる空調等の光熱水費に係るものです。38ページをお願いします。同様に中学校は(7)で357万6千円の増額、高等学校は(10)で70万円の増額、幼稚園は39ページの(13)で127万6千円の光熱水費の増額となっております。

38ページの(5) 新型コロナウイルス感染症対策事業、1,124万4千円の増額は、新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校で使用する消毒液等の衛生用品の購入を行うものです。同様に中学校は(8)で468万2千円の増額、高等学校は(11)で51万9千円の増額となっております。

39ページの(12) 就学支援相談員設置事業、13万5千円の増額は、学校休業期間中による2か月間の分の稼業日増加のため、新規高等学校卒業生の就職活動の支援に必要な就職支援相談員の派遣に係るものです。

以上の追加分と6月定例教育委員会で承認いただきました補正予算の内容を審議いただきました。

また、委託契約の締結については、「校内LAN構築及び電源キャビネット設置業務」で、これはGIGAスクール構想の実現に向け、校内LAN等の整備を行うことに伴う設置委託料について、令和2年2月議会にて補正予算措置をし、繰越したものの契約についてです。

また、報告事案は1件で、中学校給食アンケート結果の報告を行いました。詳細は、次の報告第8号で保健給食管理課から報告いたします。

審議の結果、すべての議案は可決されました。

以上が、6月定例市議会の概要です。

## **富松教育長**

6月の議会についての説明でしたが、何かご質問はございませんか。

## **藤本委員**

2ページのところなのですが、「授業日数の不足につきましては、学習指導要領で示されている標準授業日数」となっているんですけども、私初めて聞かせてもらった言葉なんですけども、標準授業時数だったら分かるんですけども、日数というのはなかったんじゃないかと思っているんですけども。

## **古田学校教育課長**

学校指導要領では標準授業時数というのはもちろんあるんですけども、時数で表記して説明していきますと、時数というのは一般の方には分かりにくいので、それを逆算し、計算して日数とさせていただきます。もともとある数字を逆算して計算して述べた数字です。

#### **藤本委員**

今課長がおっしゃられたとおりだと思うので、私も計算してみると35週かける5日間ということで、それで計算して175という数字が出たんだなと思ったんですけども。私は伏虎で最後校長で終わるときも190以上は日数があるわけで、和歌山市がクーラーを付けていただいて、夏休みを少なくして、あるいは冬休みも少し早くして、今205ぐらいはいけていると思うんです。必ず200以上あるので、少ない日数で捉えられたら駄目ではないかと懸念したので、特に議会の答弁のことなので、今だったら200日を超えているのが常識で、小学校50校、中学校17校、義務教育学校1校の全てが超えていると思いますので、175、それだけしかやってないと捉えられないか懸念がありましたので、話をさせていただきました。

#### **古田学校教育課長**

ありがとうございます。その点については藤本委員がおっしゃるように例年200日以上、授業されています。ただし、ここでは最低175日以上確保できるという意味で書かせていただきました。今度このようなことがあったときは丁寧に説明するように心掛けていきます。

#### **藤本委員**

分かりました。了解しました。

#### **津守教育局長**

議員の質問の趣旨が学習の遅れを取り戻せるのかというところにありまして。

#### **藤本委員**

学習だけの時間という、だから175日で、分かりました。要するに特別科目とか遠足とか入れずに、中庄谷議員のご指摘のところは、授業数が足りるのかというところだったんですね。分かりました。そこが少し分からなかったもので、これで納得させていただきました。

#### **富松教育長**

授業ができる日数というのがこれだけ休んで確保できるのかというのが、すごく皆様から言われたところです。そこらへんが、今回夏休みの日数が短いことを含めて、何とか確保しようということから、まず標準授業日数を出すということで、下にも書かれているとおり190日、この15日間で運動会等その他の行事が全部できるであろう。今、藤本委員が言われた205ですか、そこらへんもまだまだ十分いけると思うんですけども、今後、第2波、第3波がどうなるか分からないので、いろいろ工夫しなければならないと思っております。

#### **藤本委員**

事務局の指導主事の方々、大変お忙しい中、全ての学校へ指導主事の先生が出てきてくださって、そして学校の状況を把握するために動いてくれていることは、大変学校も心強いと思ひまして、今日は皆様にご報告したいと思ひました。

それと、各先生方全員で、私も全員できちっとできるのかと思ったんですけども、中学校だったら担任の先生、副担任の先生関係なくアルコール液を持って、手袋をして、授業が終わっ

て家庭訪問へ行かなければならない中で、きちっと蛇口のところから全て消毒してから家庭訪問へ出ている状況です。これについては、和歌山市の先生方が一生懸命やられているなど感銘したところがありますので、ちょっと報告させていただきます。以上です。

#### **富松教育長**

ありがとうございます。今のお言葉をしっかり肝に銘じて続けていきたいと思っております。他に、何か質問はございませんか。

この予算は今言ったように消毒液とか、プリント学習や、夏休みにするので光熱水費が上がるだろうということで光熱水費を上げさせてもらっています。あとは、発達障害等、障害がある方に対する支援等を潤沢にしたいとのことでその支援員さんとか、市立高校の就職の相談員さんを派遣するための予算を上げております。全てコロナ対策ということになります。

よろしいですか。

#### **委員一同**

はい。

### **報告第8号 令和元年度和歌山市中学校給食アンケート結果について**

#### **富松教育長**

それでは続いて、報告第8号「令和元年度和歌山市中学校給食アンケート結果について」説明をお願いします。

#### **福井保健給食管理課長**

保健給食管理課では、昨年11月に既に全員給食を実施している加太中学校と伏虎義務教育学校を除く、16校の1、2年生の生徒4,305名とその保護者4,332名に対して2つの目的でアンケートを実施しました。

一つ目は現行の選択制デリバリー給食の喫食率が、年々低下してきているためにその原因を探り、できる改善を図ることで喫食率の向上を図ること。

もう一つは、中学校給食に対して生徒とその保護者は何を望んでいるのかを把握して、今後の中学校給食の在り方についての検討材料とすることです。

それでは、資料に沿ってご説明します。令和元年度和歌山市中学校給食アンケート結果報告書の中身について、概略をご説明します。お手元の中学校給食アンケート結果概要の1ページをお願いします。学校給食アンケート結果概要です。今回のアンケートの設問は9問あり、9問目が自由記述となっているため問1から問8までの質問に対して、生徒、保護者共に回答数が多い順に主なものを記載させていただいています。

問1は現在、選択制デリバリー給食を申し込んでいる割合を。問2は選択制デリバリー給食を申し込んでいる理由を多い順番に、生徒、保護者共に書かせていただいております。問3では、デリバリー給食を申し込んでいない理由を同じく多い順に生徒、保護者別に分けて書かせていただいております。問4では、デリバリー給食の改善点を、どういう改善がされれば給食を申し込みますかという質問を、これも多い順番に書かせていただいております。

2ページをお願いします。問5では、中学校給食についてどう思っているか、これについて

も生徒、保護者共に多い順番に書かせていただいております。問6では、家庭弁当とデリバリー給食の選択制、今現在の方式なんですけれども、この方式を支持している理由を同じく書かせていただいております。問7は全員が選択制デリバリー給食を食べる方式がよいと答えた方のみなんですけれども、その方々について同じように生徒、保護者に分けて多い理由を順番に書かせていただいております。問8は小学校給食のような全員が食べる給食ですね、各学校の調理場であるとか、共同調理場のほうから各学校に運ばせていただいているんですが、温かい給食を提供できる方式を取っております。それが良いと思う理由を、これについても生徒、保護者の方から回答いただいたものを多い順番に書かせていただいております。

3ページをお願いします。1番は、デリバリー給食の喫食率が約15.5%と低いために、今回のアンケートから見えてきたということで、何故支持されていないのか、その理由と課題についてまとめています。2番は、学校給食に対して生徒と保護者はどのような意見を持っているかを、そして3番として、1番と2番を受けて市として考えていかなければならないことをまとめとしています。

4ページをお願いします。4ページと5ページにつきましては、今回のアンケートの各設問に対する集計表となっております。次にアンケート自体の報告書があるんですけども、その内容について数字を引っ張って見やすい形にさせていただいております。

最後にアンケート結果報告書についてですが、今回のアンケート結果についてグラフなども使い、見やすく作成していますのでまたご一読いただきますようお願いいたします。説明については以上になります。

### **富松教育長**

中学校給食のアンケート結果の報告でした。喫食率の向上、それから中学校給食をこれからどうしていくのかです。実を言うと小学校は昔からやっているんですが、中学校給食やっていないのは県下で和歌山市だけになる予定です。そんな中で結構中学校給食について要望等があります。ただし、和歌山市の子供さんや親御さんがどういうふうなことを考えているんだろうかというのを、まず聞き、中身を分析した上で今やっている中学校のデリバリーの給食を続けられるのか、または小学校のような形の給食にするのか、また違う方法があるのかというのを今後検討しなければならないような時期にきているのではないのではないかと考えております。去年度からアンケートを取りなさいと言われていたところで、その結果がやっとできたところなんです。この結果を先日の経済文教委員会にも出させてもらっております。そんな中でまとめのところに載っているように、今後その辺も踏まえてどういうふうに持って行くかということに近いうちに答えを出していかなければならないのかと考えているところです。

何か、ご質問はございませんか。

### **藤本委員**

平成24年から始まったわけなんですけれども、私が日進中学校にいたときに一番早く導入していただいて、給食が始まったわけなんですけれども。やはり一番初めに改善していただいたのが、5度でおかずの入れ物を冷蔵しなくてはいけない、冷蔵庫に入れておかなければならない、それが5度だったんです。私が校長だったので、まず最初に食べるんですけども、固まってい

て食べられないという状況のお弁当が配られたのを覚えております。そこで、反省点といたしまして、5度から10度の保存という形になったんですけども、今度はやっぱり河北食品さんも、南陽食品さんもやっぱりみかんの缶詰とか、そういうのが駄目になるといけないので、どうしようという懸念がありました。このアンケートを課長から聞かせていただいて、やっぱり冷たいというのが一番、私も2年間食べて思っているところなんです。ですから、ご飯は別になっており、ここに牛乳もあるので、おかずだけが温かったら、まだまだ喫食率が上がるんじゃないかなと考えていたんですけども、それが可能なかどうか。おかずの入れるところへ、プリンとかデザートを入れてしまうので、10度以下に保存しなくてはいけないというところに懸念がある。そういったところが一つ、このアンケートでも見えてくるところだと思うんですけど、それは果たしてその2社で可能なのか、ウイルス的に絶対駄目なので、これが上げられないのであれば、ちょっとこのアンケートの取っているところで、直ぐに懸念される場所が見えてくるのではないだろうかと思うんですけども、その点はどうでしょうか。

### **福井保健給食管理課長**

藤本委員がおっしゃられるように、おかずについては衛生管理上10度以下で保管して提供しなければいけないという基準がございます。昔は5度だったとおっしゃられていましたが、今でも10度以下ということで、ここにアンケートの方でおいしくないと書いているんですけども、実はこのおいしくないというのは、味がおいしくないということではないと思います。僕も食べさせていただきました。それで、うちの方で食べるのは常温でくるんですね、常温で食べた場合はおいしいです、正直言って。ただ、衛生管理上10度以下で保存しなければいけないというところが子供さんたちに一番支持されていない理由ではないかなと考えております。

それと、ご飯とおかずというのは別々にきます。ご飯は保温庫に入れて提供しますので温かいです。おかずについては一つのプレートみたいな形できて、そこに主菜であったり、お漬物であったり、野菜関係があるんですけども、その部分は一つの形になっているので、それを温かい物、冷たい物というふうに分けるのは、非常に現状は難しいです。

### **藤本委員**

今課長からご指摘があった、温かい物と冷たい物を一緒に入れてしまうということが改善されなかったら、小学校6年生まで培ってきた温かい給食みたいな物が食べられないと、現場で検食していた私なんかにとったら、やっぱりかちかちの物を食べていたわけなんですよね。お金としたら300円ということで安価ですけども、やっぱり、そういったところがこの15.5パーセントしか上がらないというところに私は懸念される場所ではないかなと思うんで、そのところを2社ともう少し詰めて、なんとかできないのかというところを打開しない、改善しないと喫食率は上がらないというふうに思っているんですけども、そこを改善することはできないんですか。

### **福井保健給食管理課長**

うちの栄養士が話をしていたんですけども、例えばそのおかずの中でハンバーグがあるとします。そのハンバーグだけ別の容器に入れて提供するという事は可能であると、ご飯と同じように温かい状態で保温庫のほうに入れて改善できるんですけども、そうなってくると給食業

者さんの手間もかかりますし、費用面で高くなってしまいます。そういう問題点がありまして、当然保護者の方の負担、あるいは市の負担という部分が大きくなっていくので、絶対できないというわけではないと思うんですけども、それを実施するにあたってはいろいろな障害が多いかなと思っております。

#### **富松教育長**

実は僕のほうも中学校のデリバリー給食を食べているんですけども、1社目の物を食べているんですけども、個人的に冷たくてもいいやと思っているところもありまして、大人だからそれでいいんだろうけども、福井課長が言ったように、温かい物と冷たい物と同じプレートに入っているということで、温かい物を温かい物とすると手間もかかるだろうし、業者に対する負担もかかるだろうし、当然負担がかかるということは全てお金に跳ね返ってくるだろうし、そこら辺も大きな問題で、結果的においしくないという言い方をされてしまう。おいしくないにもいろんな意味があるかと思えます。その辺も含めて喫食率が低い理由は、果たしてそこだけなんだろうかというのものもあるし、温かくしたら爆発的に増えるのかというのもの、それもまだまだ定かではないので、今回の結果を見て深堀しながら、いろんな議会の先生方もいろんなこと考えてくれているみたいなので、それを含めて我々のほうもいろんな材料を出して、また皆様にもどこかでお伺いしないといけない時期がくるだろうと思いますんで、その辺も含めて議論をしていって、あまり遅くならない時期に方向性を見つけていきたいなと思っているところです。他府県がほとんどやっていて、ただにしようかというという他府県のところもあるので、うちはまだそこまでいっていない状態なので少し遅れをとっているところがあるので、それを含めていろんな意味で検討していかなければならないところです。

#### **打田委員**

私も実は中学校の息子がいまして、給食は考えていなかったんですけども、保護者間での口こみと言いますか、お話の中でやはり冷たいおかずとかはあんまり子供たちに食べさせたくないよねという話はちらほらと耳に入っているんです。先ほどからおっしゃられているおいしくないというの、温かくないからおいしくないのか、味が口に合わないからおいしくないのか、いろいろな理由があるかと思うんですけども、例えば保護者向けにでも試食会みないたことはできたりはするのでしょうか。

#### **福井保健給食管理課長**

試食会につきましては年に何回か各校で行わせてもらっております。ただ、お金をいただいた上でということになっていますし、希望される方だけになっているんで、ご父兄の方が食べていただける数というのはあまり多くないのが現状です。

#### **打田委員**

勉強不足ですみません。その出席率とかはどのくらいか分かりますか。

#### **福井保健給食管理課長**

申し訳ありません。今日はその資料を持ち合わせてきていないです。

#### **富松教育長**

後で揃えられる。

**福井保健給食管理課長**

はい。それはできます。

**富松教育長**

後で説明するように。

**福井保健給食管理課長**

はい。分かりました。

**打田委員**

ありがとうございます。

**富松教育長**

他に、何か質問はございませんか。よろしいですか。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

この報告の結果概要を受けて、方向性をまた決めていきたいと考えておりますので、またご協力お願いしたいと思います。

**議案第 1 3 号 令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について**

**富松教育長**

それでは、これより議事に入ります。議案第 1 3 号「令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について」説明をお願いします。

**天野教育政策課長**

議案第 1 3 号「令和 2 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」についてご説明いたします。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 2 6 条第 1 項の規定に基づく教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、平成 2 4 年度から教育委員会の附属機関として和歌山市教育委員会事務評価委員会を設置し、その客観性を確保してきたところです。

本年度の点検及び評価を実施するに当たり、委員会委員の委嘱と評価の内容についてご審議をお願いいたします。

まず初めに、委員会委員の委嘱についてです。委員会委員については、和歌山市教育委員会事務評価委員会条例第 3 条第 1 項の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱することとなっております。

資料の 1 ページをご覧ください。

令和 2 年度和歌山市教育委員会事務評価委員会委員の案です。

和歌山市教育委員会事務評価委員会の委員選任に関する要綱第 2 条の規定に基づき、教育に関する学識経験を有する者について、和歌山大学教授又はそれに準ずる者として、和歌山大学

教育学部副学部長島津俊之氏、和歌山信愛女子短期大学教授又はそれに準ずる者として、和歌山信愛女子短期大学教授芝田史仁氏のお二方、また、教育委員会が必要と認める者について、小学校PTA連合会を代表する者として、水越円香氏、中学校PTA連合会を代表する者として、福田雄介氏、和歌山県私立中学高等学校協会の推薦する者として、鳥居裕史氏のお三方、以上の5名の方を委員に如何かと考えております。

なお、要綱の規定上、公立幼稚園PTA連合会を代表する方にも、委員になっていただきたいと考えておりますが、現時点で、連合会からの推薦をいただけておりません。推薦をいただき次第、委員に就任いただきたいと考えております。

委嘱期間については、和歌山市教育委員会事務評価委員会条例第4条第1項の規定に基づき令和3年3月31日までとなります。

次に、評価内容についてです。資料の2ページをご覧ください。

昨年までは、事務事業のうち8事業について評価を受けていました。

今年度は、第2次和歌山市教育振興基本計画に沿って、それぞれの具体的な取組の進捗状況を示した資料を基に評価を受けたいと考えています。

また、今後の日程については、評価委員会によるヒアリングを8月と9月に各1回行いたいと考えております。

その後、事務局で報告書の案を作成し、10月の定例教育委員会会議でのご審議を経て、10月中旬を目途に議会に提出したいと考えております。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

### **富松教育長**

事務事業の管理、執行の状況を点検及び評価をしなければならない。その委員さんをここに書かしてもらっているように、本来ならば6人になるんですけども、PTA連合会でまだ決まっていないということで空白にさせていただいております。決まり次第ご報告させていただきます。

2ページにも書いておりますけども、教育振興基本計画を作っておりますので、その目標値にどれだけ近づいているか、どれだけクリアーしているかというのを事務事業の評価をしなければならないので、こういう概要で委員さん方にやっていただくということになります。

これについて、何かご質問はございませんか。よろしいですか。

### **委員一同**

はい。

### **富松教育長**

それでは、ただいまの議案第13号について採決を行います。

原案どおり承認してよろしいでしょうか。

### **委員一同**

はい。

### **富松教育長**

それでは、原案どおり承認します。

## **議案第14号 和歌山市社会教育委員の委嘱について**

### **富松教育長**

続いて、議案第14号「和歌山市社会教育委員の委嘱について」説明をお願いします。

### **松下生涯学習課長**

「和歌山市社会教育委員の委嘱について」ご説明いたします。

和歌山市中学校PTA連合会において役員の変更がありました。

それに伴い、和歌山市中学校PTA連合会会長から社会教育委員の推薦がありましたので、松野明子様を社会教育法第15条並びに和歌山市社会教育委員条例第2条及び第3条から、和歌山市社会教育委員として委嘱いたしたく存じますので、よろしく願いいたします。

なお、前任者は新名奈美子様です。他の委員については変更ございません。以上です。

### **富松教育長**

社会教育委員の前任者新名奈美子様から松野明子様へ会長が代わられたということで、会の代表者が代わられたことによる変更になっております。

何か、ご質問はございませんか。よろしいですか。

### **委員一同**

はい。

### **富松教育長**

それでは、ただいまの議案第14号について採決を行います。

原案どおり承認してよろしいでしょうか。

### **委員一同**

はい。

### **富松教育長**

それでは、原案どおり承認します。

## **議案第15号 学校運営協議会委員の任命について**

### **富松教育長**

続いて、議案第15号「学校運営協議会委員の任命について」説明をお願いします。

### **古田学校教育課長**

議案第15号「学校運営協議会委員の任命について」説明します。

2、3ページをご覧ください。網かけしている学校運営協議委員についてです。5月の定例教育委員会の際に、育友会総会や地域の自治会等が開催できず、空白とさせていただいていた、委員につきまして、決定いたしましたので、ご承認をお願いします。

次に、4ページをご覧ください。同じく網かけの部分です。木本小学校の1番、木本地区連合自治会長が以前の豊浦幸三様から中谷寿昭様に代わりましたので、それに伴い委員の交代についてご承認をお願いします。以上でございます。

### **富松教育長**

5月に行った学校運営協議会委員の任命についての追加と変更でございます。

何か、ご質問はございませんか。よろしいですか。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

それでは、ただいまの議案第15号について採決を行います。

原案どおり承認してよろしいでしょうか。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

それでは、原案どおり承認します。

### **議案第16号 和歌山市いじめ・不登校問題に関する検討委員会委員の委嘱について**

**富松教育長**

続いて、議案第16号「和歌山市いじめ・不登校問題に関する検討委員会委員の委嘱について」説明をお願いします。

**高木子ども支援センター長**

教育委員会の附属機関として、和歌山市いじめ・不登校問題に関する検討委員会を置いています。いじめ問題及び不登校に関し、課題の解消のための住民意識の啓発の方策、また、未然に防止するための効果的な方策等について、教育に関係する団体や関係機関を代表する方、教育に関する学識経験を有する方々から提言をいただいています。

委員の任期は、条例第4条により、2年となっており現在の委員は令和3年7月定例教育委員会の前日までとなっていますが、この度、委員が欠けたため補欠委員の委嘱について審議をお願いします。

補欠委員の案は、資料で示させていただいています。氏名の欄が網かけになっている方々15名です。

なお、公立幼稚園PTA連合会長様につきましては、近日中に決定することと、現時点では氏名を省かせていただいております。決定し次第委嘱させていただきます。

ご審議、よろしくをお願いします。

**富松教育長**

先ほどの教育政策課の評価のところの委員さんとほぼ被るかと思うんです。決定しておりませんので後日という形になると思います。

**東学校教育部長**

すみません。1か所訂正がございます。チェック漏れで申し訳ございません。役職で石神和弘様、市立小学校校長代表、四箇郷小学校の四箇郷のヶが竹冠の難しい箇が正式な漢字でございます。申し訳ございません。

**富松教育長**

ヶじゃないんだね、竹冠に固いという字ですね。

**東学校教育部長**

はい。申し訳ありません。

**富松教育長**

何か、ご質問はございませんか。よろしいですか。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

一つ提案なんですけど、いじめ・不登校問題、今高木センター長がいるわけなんですけども。本町のところに1月にオープンして、4月から認定こども園が始まって、多分皆さん行ったことないですよ。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

時間いつか報告できないんですが、近いうちに皆さんと一緒に見学と言ったらおかしいんですが、こういう状況だということを見ていただければと思っています。よろしいですか。

**委員一同**

はい。よろしくをお願いします。

**富松教育長**

そしたらまた時間設定させていただきます。

それでは、ただいまの議案第16号について採決を行います。

原案どおり承認してよろしいでしょうか。

**委員一同**

はい。

**富松教育長**

それでは、原案どおり承認します。

続いて秘密会となりますが、秘密会に入る前に「その他」で何かありませんか。

**8 その他**

**天野教育政策課長**

今回の教育委員会定例会の日程について、報告をさせていただきます。次回教育委員会定例会は令和2年8月6日（木）午後1時30分から教育委員室で開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

**富松教育長**

他に何かございませんか。ないようですので、これより秘密会に入ります。

傍聴人は退室してください。

それでは議案第17号ですが、関係職員として市長事務部局文化振興課職員の入室を許可します。

**9 非公開事案**

—以下『』部分については非公開とする—

**議案第17号** 和歌山市文化芸術推進基本計画の策定について  
『非公開』

**議案第20号** 追加補正予算要求見積書（案）について  
『非公開』

**議案第18号** 令和3年度使用和歌山市立中学校及び義務教育学校後期課程教科用図書の採択について  
『非公開』

**議案第19号** 令和2年度使用和歌山市立和歌山高等学校教科用図書の採択について  
『非公開』